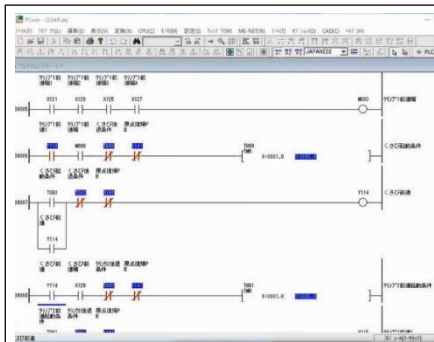


【概要】



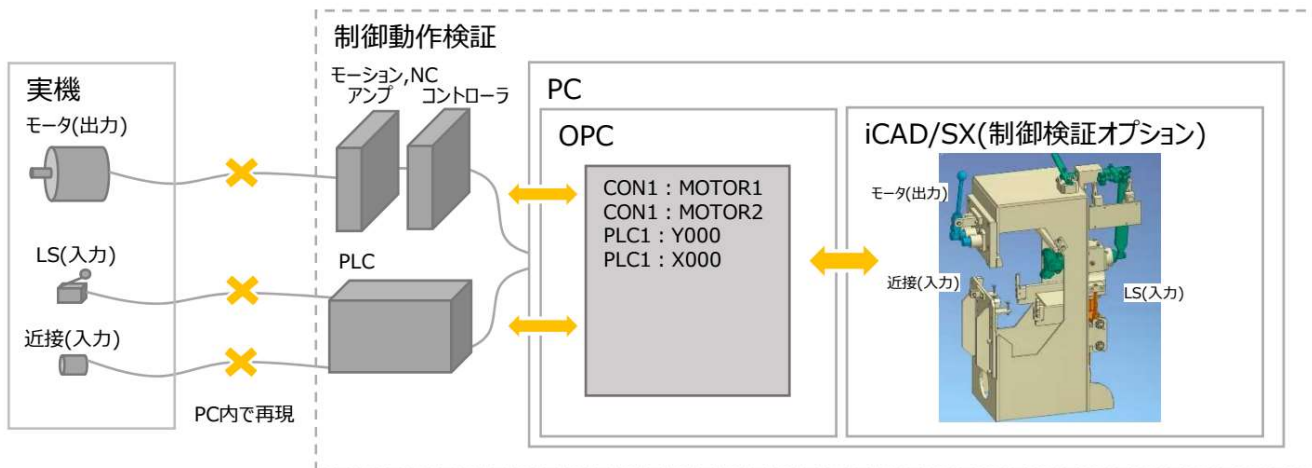
【内容】

- ・困り事：設備の運転調整に時間がかかり、納期に間に合わない
→ 3Dモデルを使用した制御回路の事前デバックで解消
- ・シーケンス回路、NCプログラムでの動作をビジュアルに確認し検証

【効果】

- ・企画通りの運転時間の達成 = リードタイム短縮
- ・企画サイクルタイムの事前検証

・机上で実機同様の動作を再現：iCAD SXの動作検証オプションを使用して3Dモデルと制御要素を紐づけ、実物のPLCやコントローラからOPCサーバを経由して信号を渡し実機同様の動作を再現します。電気機器は実物を使用しますので制御データはそのまま使用できます。



- ・開発機のデバックで活用：動作保証が難しいラダーデータをバーチャルにて検証することで実機機械のセットアップを待たずに展開先へのエビデンスとして活用できる。複数箇所への同時展開など場合には特に効果大きい。
- ・出荷済み設備の不具合検証：出荷済み機械にて問題が発生した場合には机上で再現確認方法として活用できるため現地調整（特に海外など遠方）にて長期検証を実施しなくても不具合箇所の発見が可能です。
- ・対応 PLC：OPCサーバへの通信が可能であればどの機種でも使用可能です。

(弊社実績 JTEKT、MITSUBISI、FANUC・・・実機をご準備が必要、各社 PLC により設定が異なります。)

